

## 2023年の渋谷ワンダリングクラフトのテーマは「DIY」

SHIBUYA WANDERING CRAFT は、Wonderful(驚き)をもって、Wandering(歩き回る)する物産展です。渋谷らしい新しい発見や出会いの場として、2014年から「食の生産者」「農業」「エコ」「オーダーメイド」「旅」「本」などをテーマに、新たな試みにチャレンジする作り手と共に企画してきました。2023年は「DIY (Do It Yourself)」=「自分でつくる」をテーマに、マーケット、ワークショップ、トークショーなどを開催します。近年、衣食住の様々なことにおいて「自分でつくる」という需要が高まっています。本格的な加工ができるシェア工房も増え、インテリアの日曜大工に限らず、味噌づくりや果実酒などの食品仕込みや、洋裁など家庭の手仕事から、出版や番組配信などのメディアまで、自らの手でつくる動きが広がっています。このように、既成概念にとらわれない、自ら生み出すカルチャーを「DIY」として広く捉え、様々な切り口でのイベントを通して、自分の暮らしを自分でつくる楽しさや、その文化と一緒に楽しめる仲間と出会う物産展です。

## EVENT & TALK SCHEDULE

8/19(土) 12:00~17:00

### 土と野菜を解体してみよう

渋谷キャットストリートで都市の畑を運営している CATs Street Farmingを中心に、土・野菜・花を解体してみる6つのワークショップを開催します。落ち葉が分解されてできる土をさわり比べ、そこで育つ野菜のなりたちや味を確認し、花からとれる色やカタチでモノをつくる。小さなお子さまでもご参加いただける内容です。

参加費:500円(会場内の4つのプログラムにご参加いただけます)  
主催: Creative Lounge MOV



01/COURT

8/20(日) 11:00~18:00 (ワークショップは17:00まで)

### 「マユビト」づくりのワークショップと 越後妻有・大地の芸術祭マーケット

蚕から育てた本物の繭玉を使って、オリジナル「マユビト」をつくるワークショップを開催。マユビトは大地の芸術祭がきっかけとなり誕生しました。有数の豪雪地帯である越後妻有では、農業に代わる冬仕事として養蚕が盛んに行われました。一度は途絶えた養蚕の記憶を語り継ぐ繭グズとして、蓬平集落のお母さんたちの手によって、ひとつひとつ丁寧に制作されています。地域の伝統に触れながら、子どもから大人まで楽しめる1日だけのイベントです。

参加費: ワークショップ 500円  
主催: アートフロントギャラリー、NPO法人越後妻有里山協働機構



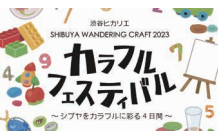
01/COURT

8/22(火)~8/25(金) 11:00~17:00

### カラフルフェスティバル

「カラフル」をコンセプトに、様々な団体が色々な DIY ワークショップを企画・提供いたします。手回し発電機を使って走る車や渋谷の街をカラフルで組み立てたり、革や布のはぎれを使っておしゃれな雑貨をつったり、デジタル技術を活かしたワークショップがあったり。自分だけのオリジナル作品や、みんなでつくるコラボ作品をつくることのできるたくさんの体験をご用意しました。夏休みの自由研究にもぜひご利用下さい!

主催: カラフルフェスティバル実行委員会



01/COURT

8/26(土) ①13:00~14:30 ②16:00~17:30

### アートをDIY! 粘土でつくる“空っぽ”のいきもの

美術作家・高嶋英男によるワークショップを開催! ペットボトルや空の容器など、日常にあるものと粘土を組み合わせ、動物や人型のオリジナル作品をつくりまします。作家代表作のコンセプトである「空っぽ」をアートの視点で感じ取りながら、普段破壊してしまうものに命を吹き込む体験ができます。

参加費: 500円 定員: 各 15 名 ※要事前申込  
主催: Bunkamura Gallery 8/



01/COURT

8/27(日) トーク11:30~13:00/ワークショップ14:00~18:00

### d SCHOOL わかりやすい DIY

### -KAKデザイングループから学ぶ、日本のDIYのはじまり-

1953年に設立された、工業デザイナー秋岡芳夫、河淵之介、金子至によるデザイン事務所「KAKデザイングループ」。彼らによる「日曜大工」の概念が家庭工作の普及など日本のDIYの源流をつくりました。彼らの「自らの手でつくり、使い続け、暮らしをデザインする」という活動と、d47 MUSEUMでの「SAMPLING PRODUCT」展で表現する「見立て」の面白さを照らし合わせながら、自由でユニークな暮らしについて考えます。当日は、関連イベントとして杉材を使った家具づくりのワークショップも開催します。

参加費: トーク 1,500円 / ワークショップ 11,000円 ※いずれも要事前申込  
定員: トーク 40 名 / ワークショップ 10 名 主催: D&DEPARTMENT PROJECT



01/COURT

8/19(土)~8/27(日) 11:00~20:00

### HAZAI PICKING - vol.1 イチゴ狩り的な -

見て触って、お気に入りのハザイを収集する、イチゴ狩りのような体験型展示。これは、私達が工場でハザイ収集をする行為の追体験になっています。また、本展ではもぎたてのハザイで制作ができる作業場も設けています。見方を変えると世界は面白いものに溢れている、その視点変換のきっかけになればと思います。

主催: Palab (パラボ)



02/CUBE 1, 2, 3

8/7(月)~10/1(日) 12:00~18:00 ※不定休

### 合同選書企画「DIY」

みんなで本を持ち寄り、みんなで運営する本屋さん「渋谷〇〇書店」では、100名を超える棚主による<DIY>をテーマにした偏愛的選書を実施中。ここでしか出会えない、自由な発想で制作された ZINE や個人出版本など、特別な本に出会えるチャンス。

主催: 渋谷〇〇書店  
※営業日は、@shibuya\_books (Twitter) をご確認ください。



03/SHIBUYA maru-maru BOOKS

7/14(金)~10/15(日) 12:00~20:00 (最終入場 19:30)

### SAMPLING PRODUCT - 47 都道府県の見立てのプロダクト展 -

運搬用コンテナや、引っ越しの際などに使う養生用キルトカバー、漁業資材や医療用品など、47都道府県のおもちゃな現場で使われている道具や素材を家の中に持ち込み、テーブルのような、棚のような、間仕切りのような、「見立てのプロダクト」として紹介。業務用品としてつくられた道具や素材を、暮らしの道具に「見立てる」ことで、改めて日本のものづくりに注目するとともに、自由でユニークな暮らしを発想する、気づきの展覧会です。

主催: D&DEPARTMENT PROJECT



04/d47 MUSEUM

8/19(土)~8/27(日) 水曜定休

### 郷土料理「りゅうぎゅう」を 自分の手で好みに仕立てる

大分県の郷土料理「りゅうぎゅう」は、魚を捌いた時に余った切れ端や残ってしまった刺身を漬けてにして、胡麻やねぎなど薬味といたたく漁師たちのまかない飯。その由来は琉球の漁師から伝わったなど諸説があります。りゅうぎゅうは自分で手を加えながら味の変化を楽しめる郷土料理の一つ。大分の「かぼす」をごはんやりゅうぎゅうにかけて、最後はお出汁をかけてさっぱりと召し上がれ。

「りゅうぎゅうワンダリングセット」1,680円  
提供時間: 11:30~15:00/17:00~19:00 (金・土・祝前日は20時まで)  
※売り切れ次第終了

主催: D&DEPARTMENT PROJECT



06/d47 SHOKUDO

8/19(土)~8/27(日) 11:00~20:00

### 生活の解体展

知っているようで知らない日用品を実際に解体してみることで、なりたちを理解し、もっと好きになり、ずっと大事に使い続けてもらえる。そんな体験のヒントになるのが生活の解体展です。服は服の、自転車は自転車のプロたちがレクチャーする解体ワークショップをはじめ、実際に解体した日用品も展示されます。

主催: Creative Lounge MOV



07/Creative Lounge MOV



SHIBUYA WANDERING CRAFT 2023  
www.hikarie8.com

詳しくは 8/WEB サイトより各イベントページをご覧ください。